

利用成果報告書

1 課題番号 R4-D14

2 報告者 岩川 外史郎 東京大学医学部附属病院

3 利用区分 成果公開有償利用

4 利用課題名 網膜変性疾患モデルの樹立、変性機構の解明、新規治療法確立に向けた基盤研究

5 使用装置名 FACS Aria II, IIIu, III セルソーター
共焦点顕微鏡 SP5

6 利用期間 令和 4年 7月 14日 ~ 令和 5年 3月 31日

7 利用成果・実績の概要 共焦点顕微鏡により、網膜血管系の表層、中層、深層、それぞれにおける欠陥内皮細胞や周皮細胞、マクログリア細胞の観察を行い、OIRマウスにおける病態の変化を捉えることができた。血管新生の抑制が期待される阻害剤を投与し、その効果を検討中である。FACS Aria IIIを利用して遺伝子導入された細胞の分取を行い、RT-qPCRによる遺伝子発現解析など各種評価を行った。

8 社会・経済への波及効果

9 学会等における口頭・ポスター発表 該当なし

10 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Setd5, but not Setd2, is indispensable for retinal cell survival and proliferation	Iwagawa T. et al.	FEBS Lett.	R5.2	国外